

令和7年度 学校評価報告書（目標設定）

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	①主体的に学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着と向上を図り、他者と協働する力や課題解決力を身に付けさせる。 ②多様な学習機会を提供し、看護・福祉の専門教育の充実を図り、将来の職に求められる資質・能力を育む。	①・基礎学力の定着と向上を図るためにICTを利活用し主体的な学びや探究的な学びを柱に組織的に授業改善に取り組む。また普通科の学びでは、2学年以降の学習の充実に向け立案・計画する。 ②外部機関と連携した学びや体験学習や実習など多様な学習機会を提供し、普通科での取組と専門教育の充実を図り、将来の質の高い進路実現を目指し学力の育成を行う。	①・主体的かつ探究的な学びの視点を取り入れたテーマで研究授業を実施し、深い学びにつながるICTの効果的な利活用の方法について実践事例を共有し積極的に実践する。 ・相互授業見学と定期的な教科会の実施により、授業力の向上を図る。 ②・各専門科で病院や施設などの外部機関と連携し、目標に沿った校外実習や講演会を実施する。 ・多様な進路実現に向け将来を見据えた科目選択ができるよう支援する。	①・教科会を柱に組織的に授業改善に取り組めたか。 ・教員間で授業力の向上が図れたか。また、生徒による授業評価等の結果より、授業改善が進んだか。 ・朝学習を組織的かつ計画的に運用できたか。 ・授業見学の実施回数や見学を通しての成果等をまとめ検証する。 ②・実施計画に基づき実施し、成果を得られたか。 ・選択科目説明会やガイダンスを実施し、生徒が進路実現に向けた科目選択をことができたか。
2 生徒指導・ 支援	①部活動や行事、日常的な生活指導を通して、社会規範や責任感・連帯感を培い、自主自律の姿勢を育む。 ②組織的な教育相談体制を確立し、生徒一人ひとりの状況を把握し心に寄り添い、安全安心な学校生活を確保する。	①・部活動や行事など生徒主体の活動を充実させ、生徒自ら考え行動する力や協働する力を育む。 ・日常的な生活指導を通して、社会規範を身に付けさせ自主自律の姿勢を育む。 ②・SC・SSW・SM等や教育相談コーディネーター、生活支援グループを中心に行き、職員研修を行い、職員のスキルの向上を図る。	①・委員会や学校行事において、計画・実施・評価を生徒が主体的、協働的に活動できるように支援する。部活動では、目標を共有し、日々の活動を充実させ、その成果を大会や発表会で示せるように支援する。 ・生徒の特徴や男女比などに合った部活動の在り方にについて、顧問総会などで検討し、部活動の精選と活性化を図る。 ・頭髪服装指導、遅刻指導、登下校指導等を職員全体で行うことで生徒の規範意識を高める。 ②組織的な教育相談体制を構築することで円滑に生徒の悩みを解決できるよう取り組む。また、職員研修を行い、多様な生徒の課題に対応できるよう職員のスキルの向上を図る。	①・部活動の活動状況（人数・日数・内容・大会参加など）が活性化したか。 ・生徒1人ひとりが達成感を持ち、部活動に参加できたか。 ・部活動加入率が、昨年度より上がったか。 ・教員間で、部活動についての情報交換や意見交換を活発に行い、今後の部活動の方向性について検討し、実践につなげられたか。 ・頭髪服装指導、遅刻指導の対象生徒数が減少したか。交通安全指導を定期的に実施したか。 ②円滑な情報共有により早期に問題を抱える生徒へ必要な支援を組織的に実施できたか。生徒対応に係る研修を通して生徒対応にいかすことができたか。
3 進路指導・ 支援	①自らのキャリア発達を意識できる3年間の進路指導の充実を図り、自己の希望に即した進路実現を図る。 ②「看護の心」「福祉の心」「奉仕の心」を育み、看護・福祉等分野のよき担い手として活躍できる人材を育てる。	①普通科・専門科の生徒の状況を把握し、3年間を見通したキャリア教育を実践し、自己の生き方・在り方を考えさせる。上級学校進学におけるガイダンスの充実を図り生徒一人ひとりの進路実現を支援する。 ②将来ヒューマンサービスを担う人材として、社会人基礎力	①・ガイダンス時における進路別希望調査票で状況を把握する。 ・講演会等の事前・事後学習を通して、あきらめないで可能性を信じられる心を育てる。 ・各種ガイダンスやコンソーシアムを活用し、生徒自身のキャリアデザインが描けるようにする。 ・卒業生の話を聞くことで、押しつけではなく、自分自身でやりたくなる	①・生徒の進路希望と開講したガイダンスの整合性があるか。 ・夢は叶うという、信念を持たせることができたか。 ・卒業生の話から、効果的な学習スタイルを会得し、それを実行することができたか。 ・主体的な取組みから将来のキャリア形成を見通すことができるようになったか。 ・模試など主体的な学習状況や受験スタイルと進路結果。 ②インターンシップや仕事の

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
			<p>と看護・医療・福祉等の分野を担う資質・能力の育成を図る。</p> <p>・校外実習や講演会等をとおして3つの心を育み、自ら「できること」を考えさせ、互助の意識を醸成する。</p>	<p>ような気持ちを育くむ。</p> <p>②各種行事等で、人と人が思いやりを持ち、お互いを尊重する、誰もが大切にしたい「心」が育成できるようキャリアパスポートを活用させる。</p> <p>③校外実習や講演会・ガイダンスを行い、「互助の意識」を醸成する。</p>	<p>学び場、1日看護体験などへの参加状況。</p> <p>③コミュニティソーシャルワークの重要性を理解し、取り組もうとする雰囲気が醸成されているか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域に親しまれ信頼される学校となるよう広報活動に力を入れ取り組み、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>②地域と連携した防災活動や地域のイベントへの参加等を推進し、生徒の社会参画の意識を醸成する。</p>	<p>①本校の魅力・特色を地域に発信し、信頼される学校となるようHPやインスタグラム、学校案内等の充実に取り組み、開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>②・生徒主体学校行事や部活動・ボランティア活動など小・中学校や地域と連携した活動を充実させる。</p> <p>・防災活動や交通安全など地域や保護者と連携した取組の推進を図る。</p>	<p>①3回の学校説明会や体験授業では効果的に学校の魅力や特色を伝えることを目指し、時期に合わせて実施形態を工夫し企画・立案・運営を行う。</p> <p>①オープンスクールでは地域に開かれた学校作りを目指し、昨年度の状況を踏まえ課題の解決を図り、企画・立案・運営を行う。</p> <p>②・文化祭運営委員会を中心に、活発で内容の充実した文化祭を企画・運営し、本校の魅力を地域の皆様に発信する。</p> <p>・地域と連携して避難訓練等防災活動を実施し防災体制の整備を行い、生徒の防災意識を高める。</p>	<p>①学校の魅力や特色を効果的に伝える広報活動や行事を実施できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した活動の様子をHPやインスタグラムで発信し、学校の魅力を伝えることができたか。 ・アンケート結果等よりオープンスクールが充実し実践できたか。 ②・文化祭の開催をポスターやホームページなどで発信できたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭来校者人数が昨年度より増えたか。 ・地域の皆様と共同で行う防災活動に参加できたか。
5	学校管理 学校運営	<p>①令和7年度からの学科改編に伴い、看護・福祉・普通科3科の教育活動が充実・発展するよう全職員で取り組む。</p> <p>②情報管理を徹底し、事故・不祥事防止を徹底する。</p> <p>③働き方改革を進め風通しのよい職場づくりに取り組む。</p>	<p>①普通・福祉・看護科の3科の活動が円滑に進むよう全職員で取り組むとともに、令和9年度の普通科・福祉科の学科改編に係る諸課題の解決に向けて組織的に取り組む。</p> <p>②入学者選抜、成績処理等では職員研修や職員相互の声かけを行い、事故・不祥事防止を徹底する。</p> <p>③職員が働きがいをもち業務を遂行できるよう業務の精選等を行う。働き方改革に向け効率的な業務の遂行に向けて職員の意識の醸成を図る。</p>	<p>①普通・福祉・看護科の3科の教育活動が円滑に進むよう、教職員相互の情報共有や会議・打ち合わせを的確に行う。また「特色ある普通科」としての在り方を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通科への学科改編に係る諸課題及び駐輪場の工事等を円滑に進めるため、教職員と事務室と適切に連携する。 ②事故・不祥事防止に向け、校内巡回及び日々の声かけを行う。また、適時職員研修を実施する。 ③教職員の働き方改革への意識を高め、教職員が働きがいを持ち日々の業務に取り組めるよう取り組む。業務のマニュアル化やスクラップ等の精選を進めるとともに、ICTを利活用し、効率的で効果的な業務の推進を図る。 	<p>①教育活動にかかる各種アンケートや生徒による授業評価等から、教育活動を円滑に進めることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特色ある普通科」としての在り方を検討し次年度に向けての取組を進めることができたか。 ・学科改編に係る諸課題解決や工事等を円滑に進め、生徒の満足度を高められたか。 <p>②入学者選抜や成績処理等事故・不祥事がゼロであったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修等を行い、職員の意識を図れたか。 ③長時間勤務の是正等教職員の働き方改革への意識の醸成を図れたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・業務の精選やICT化を進めることができたか。